



第1回 新人助産師研修 報告

極暑の候、皆様にはいっそうご活躍のこととお慶び申し上げます。
7月26日 山口県の新人助産師研修の開会式が行われました。

吉村会長より、「皆様のサポートするのは先輩です。しかし、主体的に努力していくのは、あなた自身です。多様化する社会のニーズに対応できる、母子に寄り添える素敵な助産師めざし、これから頑張ってください。山口県のお産を守る 大切な宝を温かく見守り育てていきたい。」という温かいお言葉を頂きました。新人13名新たな研鑽を誓い、気持ちを引きしめていました。

その後に 第1回公開講座「新生児のフィジカルアセスメント・新生児蘇生NCP R」は徳山中央病院小児科 立石 浩先生を講師としてお招きし講演して頂きました。参加者45名でした。「新生児のフィジカルアセスメントをたくさんの症例から観察ポイントを解りやすく講演をして頂き理解が深まりました。」との参加者のアンケートの声が多数ありました。

昼からのマタニティ・アロマでは、高橋 智美先生を講師にアロマセラピーを行いました。互いの手をマッサージすることで、手で触れる事での安心感とリラックスゼーションが得られることを学びました。交流会では、新人どうしてスキンシップをはかり、瞬時に気分転換を図れた様子でした。



新人助産師 13名



皆さん、助産のケアの質を上げていくためにも、人材を大切に、新人にケアリングの大切さを学ぶ機会をつくり、患者さんに、分かりやすく伝え指導できる・安心と安全を与える助産師に育つように、先輩助産師皆さん一人一人の支援で温かく育てていきましょう。